

プロレタリア通信 No.5

1958.11.15

十一月十一日、相古スルジヨアシードチは（全国連、田舎連、至道同友会の審議会）、十一・五にて下した労働階級と人民の斗争の爆発、警察法反対の活動者の政治スト、金鉱延長賃貸の自民党の暴行への怒りが、市民を急進に自民党の支配をゆるがすまでに發展させよとするとして、金鉱延長賃貸をいたして「当面の政府について」検討した。そして、「当分静観する」との一言の談話で表した。これと並んで、十四日、金運管の正當化とスローカンにして、社会党への党首会談をよびかけることを諭告して川田自民党幹部会議は、突如「警察法反対の政治的行動をしておらぬ」という大口を叩きへの意向を明らかにした。そして、翌十二日、敵も味方もしく想する最中で川田が、F社金運管大会は「下部運動、絶対の激しいつきあいが行わられるであろう」という判断を完全に裏切つて、金運管の正當化への道をひらくことと、農耕行部へ一往する農業をへりやる三番目基盤にしながら、かう右派からの攻撃多数の中でもある「どより細点ブルラワジーからの大喝采を浴びた。

F社金運管大会は「下部運動、絶対の激しいつきあいが行わられるであろう」という判断を完全に裏切つて、金運管の正當化への道をひらくことと、農耕行部へ一往する農業をへりやる三番目基盤にしながら、かう右派からの攻撃多数の中でもある「どより細点ブルラワジーからの大喝采を浴びた。

十三日、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日までの間に金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのが、このたびは労働者との斗合を止められることになったのが、今後の方針についてはほとんど討論がなされないまま、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

二、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日で漸く下部の労働者が斗合の自信をもつておつとした結果にあつたのだが、なぜに金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのか、このたびは労働者とのエネルギーが限られなくなつて、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

かかる結果の由で、労働者階級の指導力は一が点が主とおもつかれてゐるが、金帝社会連右派は、十月後半から十一・五前半のむだが大歓迎の「争取」的作戦、自らのオーナーの勝利とし、一方の退却による勝利の宣言を金帝のものにしておつとするエネルギーを有していることを示しておる。（十一月十五日の金帝幹部会議、田舎連の益次、エウラジ紙「警察法反対の苦難の露出」）しかし、これらの人民のエネルギーが主な原因であつて、金帝幹部の相撲などへの意向がないまま、あることはその政治幹部である社会党幹部の幹部の取引によっての力を費しておつることのために、一本の政治的流れに結集されず、悲劇にまよひ落選ばかりの形相手である。

二、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日で漸く下部の労働者が斗合の自信をもつておつした結果にあつたのだが、なぜに金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのか、このたびは労働者とのエネルギーが限られなくなつて、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

十一月十一日、相古スルジヨアシードチは（全国連、田舎連、至道同友会の審議会）、十一・五にて下した労働階級と人民の斗争の爆発、警察法反対の活動者の政治スト、金鉱延長賃貸の自民党の暴行への怒りが、市民を急進に自民党の支配をゆるがすまでに發展させよとするとして、金鉱延長賃貸をいたして「当面の政府について」検討した。そして、「当分静観する」との一言の談話で表した。これと並んで、十四日、金運管の正當化とスローカンにして、社会党への党首会談をよびかけることを諭告して川田自民党幹部会議は、突如「警察法反対の政治的行動をしておらぬ」という判断を完全に裏切つて、金運管の正當化への道をひらくことと、農耕行部へ一往する農業をへりやる三番目基盤にしながら、かう右派からの攻撃多数の中でもある「どより細点ブルラワジーからの大喝采を浴びた。

十三日、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日までの間に金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのが、このたびは労働者との斗合を止められることになったのが、今後の方針についてはほとんど討論がなされないまま、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

二、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日で漸く下部の労働者が斗合の自信をもつておつした結果にあつたのだが、なぜに金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのか、このたびは労働者とのエネルギーが限られなくなつて、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

三、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日で漸く下部の労働者が斗合の自信をもつておつした結果にあつたのだが、なぜに金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのか、このたびは労働者とのエネルギーが限られなくなつて、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

四、湯ヶ原さくらが金運管の警察法反対討論会は、十一月四日で漸く下部の労働者が斗合の自信をもつておつした結果にあつたのだが、なぜに金運管幹部は六、七日の斗合を中止せしめられたのか、このたびは労働者とのエネルギーが限られなくなつて、廿六日の左派統一行動は、ともべく行つた。しかし、今までの結果が場所要求と分离して左派として着席して、十分の力を發揮しておつしとの現在の状況の中での労働者階級へのエネルギーは急速で、日本の政治の交渉の範囲の中ではある中につづきあらねつてある。

(2)

(1)

かかる労働運動指導部の標榜で、日本共产党は「反動法改正を打倒する運動」を展開する。

そして、憲法の修憲は、多くの革命的労働者が支持せず、シンジニセでいる。政治上の混乱があり、是正しが与えられないと、しかも、二の政策上の混乱を説教して、「る惑には、現在の政府の誤りの正誤が判断の分野がある。

この次に、労働者階級の半ばとつて千金を値するような現状の一刻一刻の情勢の変化とどちらかはるかに自分の政治的感覚に付く、気がかなしくなんの取りもどらぬ労働者の政治的感覚」と評論的たうて「簡潔・確実」と呼ぶ。代々木にある部分は、労働者の階級的意識の興味とエネルギーの爆発を示す、しかもその前の組織化感覚と労働者の共感を察知した。

左翼部分の一節は、労働者のエネルギーが急激に衰えていくのに本筋的危機を感じながら「なんとか大事を争さ」とあせりを感じつつ、その気が見えない。

「ここでは今一度体制と奮闘して次の手に備え」といつ。またある部分は、労働者に対するヤンスはまさに逃された。工薪や一連連の者と政治的とはアルジョウの公的なレポートのせめられた。

「ここでは一部はいせんとして労働者が政敵へと身を守ることで、今

「一歩政治家を養ふ」ときたところ。

この最初の標榜は、労働者に対する正義感と年々えるべきの正義感を抱くべきである。

しかし王子の斗い。全學連の斗争——とくに労働斗争の中でのいへつかの斗い。これが気にかかる。すこしの現象で、これが本当に高い姿勢であつてしまえ。かくて憲法改正の抜打的提出。日経連の臨時総会での政治的ハッパ力と宣言、全学連、日教組、全連への強行的解説。さらに労働への対決の構え。だがしかし、憲法改正の抜打的提出は、労働者・人民のエネルギーに対する一つの誤算に基くものであった。

予測をはるかに上回った労働者の反撃開始。火薬によつて切られた。(十月八日)社会党の「これまた想以上の抵抗」。一時的妥協(十月十三日)で切りぬけるかに見えたのも束の間、解き放れたエネルギーはあつゆい思惑をこえて進む。

動議では、半ば労働者によつた中國の急激な反岸化とその拡大。

そして十一日、ブルジョアジーは、岸の政治的地位の動搖が政府危機に到り、さうには政治的危機にまで發展しかけない状勢の中で、ついに今までの強行方針を捨てた。彼らの合意葉。「搞いた政局を守護させ」「政府危機」を收拾し、労働運動の十一・五の行動が拡大し、眞の政治ゼネストにまで発展し、政府の危機のみならずブルジョアの支配をゆるがす——少くとも資本攻勢のプログラムまでづかされることを何とかして防ぐこと、そのためじのエネルギーをなくせること。(このことによつて再び彼らのプログラムを軟道にせることだ)。

この作業が、いま進行中だ。

こう見るならば、この一ヶ月の半ばは、九月の終りから十月当初のあの自信にみちた支配者のプランを完膚なきまでに狂わし、その政治委員会を動搖させ、自信を失させたに至つたと、うきわめて重大な結果を導いている。

憲法改正の審議来る。これだとどうかず、独裁政改憲、農貸法

II

現在の局面を真摯に「見れば、まだ自慢の立たない」といふ。が、われわれは、今、この統治的魔羅に目を離さないといふ、全般情勢がこの一ヶ月どう動いたか、十月七日を限まる一ヶ月間の半なかなる変化をもたらして現状の局面をつくりだしたのを正確に見なければならぬ。

が、われわれは、今、この統治的魔羅に目を離さないといふ、全般情勢がこの一ヶ月どう動いたか、十月七日を限まる一ヶ月間の半なかなる変化をもたらして現状の局面をつくりだしたのを正確に見なければならぬ。

ハーブルジョウワード支配階級に生じた東洋化について、十月始の抗争——これまで「オーバーエンゲージメント」で明らかにしたようにこれが簡単に復讐せば、日本帝国主義の対外、内討伐の悪化のための諸方策につけての相当面積あり、しかも急遽シナモモードと日本軍への攻撃、日本支那の輸出をめぐる行政的措置(自衛隊の近代化)の実行があつ。

ハーブルジョウワード支配階級に生じた東洋化について、十月始の抗争——これまで「オーバーエンゲージメント」で明らかにしたようにこれが簡単に復讐せば、日本帝国主義の対外、内討伐の悪化のための諸方策につけての相当面積あり、しかも急遽シナモモードと日本軍への攻撃、日本支那の輸出をめぐる行政的措置(自衛隊の近代化)の実行があつ。

(3)

ハーブルジョウワード支配階級に生じた東洋化について、十月始の抗争——これまで「オーバーエンゲージメント」で明らかにしたようにこれが簡単に復讐せば、日本帝国主義の対外、内討伐の悪化のための諸方策につけての相当面積あり、しかも急遽シナモモードと日本軍への攻撃、日本支那の輸出をめぐる行政的措置(自衛隊の近代化)の実行があつ。

ハーブルジョウワード支配階級に生じた東洋化について、十月始の抗争——これまで「オーバーエンゲージメント」で明らかにしたようにこれが簡単に復讐せば、日本帝国主義の対外、内討伐の悪化のための諸方策につけての相当面積あり、しかも急遽シナモモードと日本軍への攻撃、日本支那の輸出をめぐる行政的措置(自衛隊の近代化)の実行があつ。

ハーブルジョウワード支配階級に生じた東洋化について、十月始の抗争——これまで「オーバーエンゲージメント」で明らかにしたようにこれが簡単に復讐せば、日本帝国主義の対外、内討伐の悪化のための諸方策につけての相当面積あり、しかも急遽シナモモードと日本軍への攻撃、日本支那の輸出をめぐる行政的措置(自衛隊の近代化)の実行があつ。

企画部の担当が自分の仕事であることをどうぞ理解して貰
うために、行動を調整して貰う。

六日、の予定の如し

。——。及至工作方面，反不如前。

この時漢の軍勢のメソキア大陸の行脚がござりますぬ？
それで日本に來り、
ヤニカ特急、十一、二、一、五

そして現在の時期——。

効力者高級の隊長は實在のなかる指導者の費切リ的性質を一つ一つの斗争の中で明らかにし、これと斗争して存続にはありえまい。しかしも抵触する所がなく、これに代り得る斗争の革命の方針の充満による大衆的ベクトルとその教義傳播を通じての、日本労働者階級の二つの前途を明瞭にせしむ。〔註〕

前半の文が終る處から、別紙と両端紙と同様に「(註)」とある。

ハサハシシテ、タヘ、
大義的見地の端より政治的看護。
ハニで全般に國體正の政治生命を奪はれた。英説幹部の厄難
的言論の高行。しかも「田園公報」の社説は既に浮上してゐる。

金の流れも、ヨーロッパの部分の首領と云ふ。一部の下級官僚は統制となり撤退した。
統率を流れる中で批判的暴力が表面化するところ察ひなし。田舎ー私
領の農耕ラインと、炭労・食労・化労とは明らかに分化の前兆を示してい
る。

もはや半ば全部やらなうとするところをきこた。しかも下界勞働者
のエネルギーの昂揚の本底的動機感。
十一・五四戦・利弊の計の辯論工作がはじまる。田舎ストップ構
想の一回目で打切りされる。
上段も十一・五以降の職場口と年々されない。西・年々なに。
革団体。民衆を派の御用階級を賣ぬけない。カーリングのその後の
因縁でもよきられなし。事件が本
代々木教。しつも就業規制に全く着想が力なし。一オペラ相送らず
の巾を詰。さらに一部の口での集中に基地への行使に集中。
そして同時に其当会員の陸空を最大の舞團の観客として社会舞へ
のゼクト的抗争。更に口岸が仕を叫んでの社会舞への石垣内批判。
これらの複数の要因り即ち次第に十一・五のやう六日はれけ
て集中的に爆發する。

労力者と人民の反対の怒のバクハツー自民黨の効率、となる次第
に至しての労使幹部の大口・七口の口の申上命令。次の辯のセ

から日本はどんどの单産で、左翼力は一つに結集し、統一主張の右翼如右針に反対する思潮をつくり、大きくなるとしている。今さうの統一の議会系一高野松也、辻の代表となつて、さう左翼力の政治田代井としての性格をもつて奮闘としている。代々木中央を支配する田中吉三、赤坂派に反対する各種の反対派が形成されつつある。

しかも尚ほりも重要なことは、革命的左翼は自らを単に区別しただけではなく、十一・五にてあつて力初者の中でも、学生の中でも極めて重音的ではある反実業的革新を行いつつも、革命的部份はこれに集中し、斗じの革効化に大きく貢献したのである。

ニ水の部分は今や公然大衆の前に現れ、終段全文の革命的成份は伸びかけ、諭諭をして實に革命化するための努力を開始しようととしている。共産党・社会党の影響下にある下部党員・同調者がこれに賛同し始め、一つの政治勢力として登場し始めた。

二の一ヶ月の斗争本生がたして靈氣野な実業である。
三月は、着付君階級は二の一ヶ月の間に極めて多くの政治的影響を蒙り、
経つて、序勢なら反撃へつるベキ重大なる使命を負ひ得満洲に渡り、
させ、同時に、この運動をもととする長野を捉つて来た指導者た
の資金をある種までになし、前述の「カルギー」をしてじる。
し久し前、原作約多數が誤認する裏切り的指導との影響にあり、二の
の影響をうちきりのベキ、右の如き理論と方針と職務をもつた此批評者
が本でない、或いはそれらが多數を使用してじられたために追
責へ、攻撃のナマシズを割々と免れていこうとしている。しかし
し、二の中であつて同時に、二の間の斗争は革命的勢力の革命的勢
力インテリゲンチヤによる眞の革命的勢力の結果とその政治的影響
力の誕生をうながし、序勢運動の意義にあたつて、実戦斗争の指
導勢力として姿を現わしてゐる。

今こそ、革命的左翼を成る幹部の方針の徹底批判と現実の運
動の正しい指導を大胆に行うべくことをが大事。
現在の政治情勢の急テンポに聯し、今までの指導者の裏切り的方針
の下に労働者を放置しておくことには同じく裏切りに等しい。

本業会議を大義の事で警固し、再会定めに付の御内閣へ
學校へよる宣せられ
大義運動の本業の上に立つた舊医士幹部こそ、岸の支配を極度及
てを留醫者連絡に与える。
（二）一二通の政治的動向は、自民党的動搖がこの根柢を
成す。彼らを西原茂也せしめ、（一）（二）によつて、次、彼らのス
ランを生むせ、既占資本の財政政策は、東洋本業の構成を打らせ、
安保系内改訂の全みをぶち破れ。
二の時期の斗争は、反対する政治的方向に結集させなじと、軍体制打
破、定期体制の打破、民主主義は護り民運動の展開は、時んざわ
されば、一つの政治的力へニアへ終つてしまつ。
又、前者本の四回半身に再び還えどしまつことは西多良の各回要
儀勇術の前に未だをさうしとしまじ、勞力運動にひとつ不利益局
面へ自ら移行してしまつことになる。
或会主義をうち強さ力、資本家階級を育體せしめる力、一その力
を身に運ぶが現在立ち直してることに確信をもち、次の展望を
与えて進歩の斗争を組むせり。

現情勢一就中十月、一一四・斗争が生れたした政治情勢の変化と現
段階を明らかにし、統計的方針を歴史的に批判し、自民党の
政治的論理をさしきだつづけてくる。一、終戦後日本はアービー
の国めが持められようとすむこの期一、二週間、十一月中にこぎ
た大事件、一、の動搖で日本を与える政治ヘローガンのものと日本
の者の政治バト、これにて幕く衝突をモチ組みをする二、整政法案
金務院、日会長選を認める。日会解散、年の賛成卓求、解任、セ
村村外のベローガンのトビキ五萬陸一行動を積極的に組みしな
せ!!

「この辺いがなく、戻く斗われうなうは、われわれは次の展開をひら
べばとぞさざなひあつう。」
男の運動を反動政治家と源本政界に立ち向わせろ反対と改革を行
くにだせるであつう。木水る男の者階級の斗争なしに口厚生、他の
小アルジヨードの伝説な工エネルギーは決して有効打となりえまい。革
命的生徒は、木水る立場に立ちつつ男の者に男女よび久ケ、同時に
指導力と活動家的精神的に立つ情勢の把握をおしすすめ、男の
者とともに、両者の伝説な学生を立上らせよう。一々いの努力を傾
すしなければならぬ。

新民主主義の完全統合!!

日本労働者運動、日本労働運動、

労働改悪の実行団!!

労働者の権利を奪つた反対団!!

労働者を隠す大蔵本家の手先、岸内閣打倒!!

労働者を隠す二木や二木岸内閣打倒!!

アジアの支那と侵略を企てる岸内閣打倒!!

アメリカとの連合同盟戦争への反対岸内閣打倒!!

十一、二大の労働者が政治セミナーで講話せよ!!

十一、二大労働者の政治セミナーで日本労働者せよ!!

労働者のセミナーが岸内閣を打倒せよ!!

社会党は国会から江河に放り出せ!!

工場ヒエラルキイ、ペーライキ、労働条件改善せよ!!

労働者行動権を認めせよ!!

金田の学生は労働者階級と共に抗議政治ペーライキせよ!!

労働者と肩を組んで運動せよ!!

絶対の労働者ハ金田の學生の团结せよ!!

マジック・レー、ハ抗議の波の下、革命的労働者、学生の团结せよ!!

(十一月十日)